

関西大学社会安全学部客員教授講演会

福島第一事故後対応の状況と課題 —危機収束への取組は成功しているか?—

福島第一原発事故後約10年の節目に、事故を受けて鋭意進められてきた、廃炉、賠償、被災地復興、原子力運営上の強化等の、様々な事故後対応の詳細や現状を紹介するとともに、それらの課題や重要性について考察する。

講師 山名 元 氏

日時：2020年11月23日（月） 14:40～16:10

**場所：関西大学 高槻ミューズキャンパス
西館5階 ミューズホール**

申込不要
入場無料



山名 元 (やまな はじめ) 氏プロフィール

原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長
京都大学名誉教授

専門分野：放射化学
核燃料サイクル工学
福島第一原発廃炉

著書：『放射能の真実』電気新聞ブックス
(2011年)

『それでも日本は原発を止められない』
産経新聞出版 (2011年)

『原子力安全基盤科学 (全3巻)』
京都大学学術出版会 (2017年)

■事務局 関西大学社会安全学部 https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/
〒569-1098 高槻市白梅町7番1号 TEL 072-684-4000

車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。キャンパス内は、一部を除き全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。